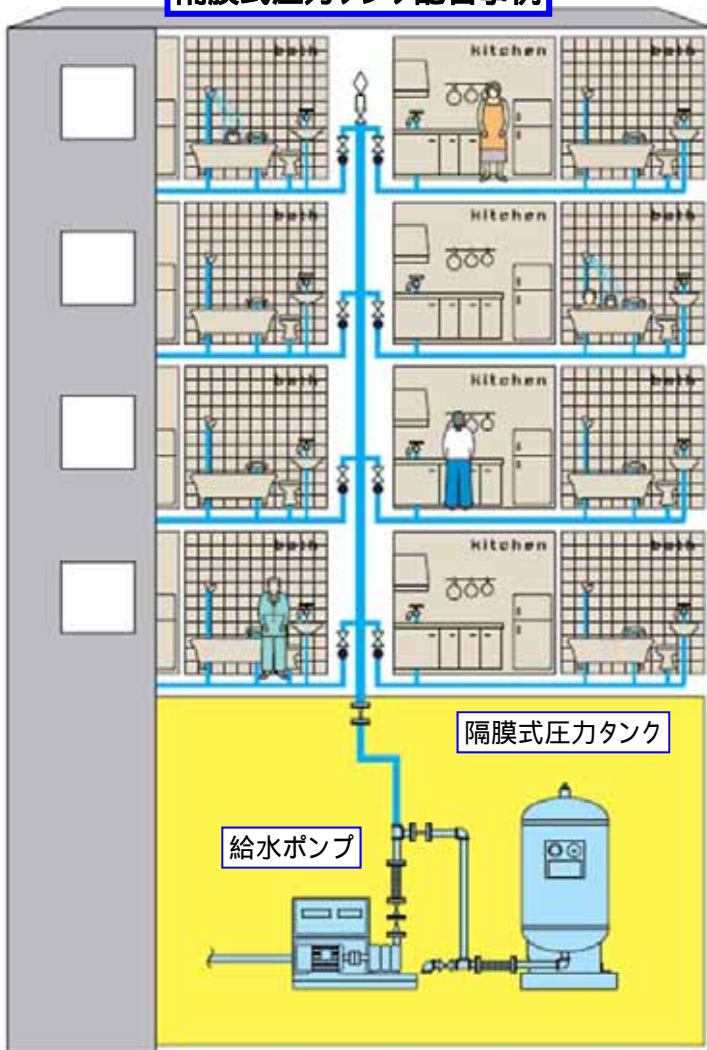


Techno Report

【隔膜式圧力タンク】の空気圧点検

マンションや大型商業ビルにおいて、給水方式はポンプ圧送方式が主流になっています。この給水システムや給湯システムには、配管内圧力の急激な変化を防止するとともに、管内圧力を保持するための【隔膜式圧力タンク】を備えています。圧力タンク内には水室と空気室とがあり、ゴム製の隔膜（ダイアフラム）で仕切られています。この空気室の圧力で配管内の圧力を保持していますが、**空気漏れ**による圧力低下や隔膜が破れたりすることで**圧力保持機能を失い、給水ポンプの起動頻度が増加し電磁開閉器焼損などの危険が高まります**。メーカーは1年以内の点検を推奨していますが、**しばらく点検していないようでしたら、お気軽にお問合せ下さい**。

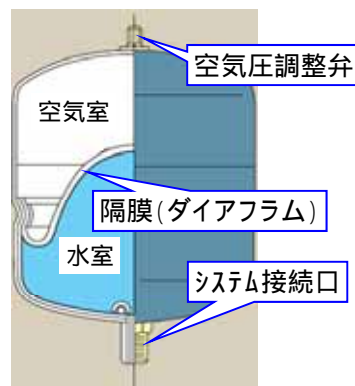
隔膜式圧力タンク配管事例



隔膜式圧力タンク点検



隔膜式圧力タンク構造図



故障事例

- 隔膜破損
- 空気室への水流入
- ポンプ起動・停止頻度増加
- 電磁開閉器入切頻度増加
- 電磁開閉器早期接点寿命
- 電磁開閉器発熱**焼損** (左図)

